

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名	栄養改善推進事業							予算事業名	栄養改善推進事業費				
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	03	事業	2301	要求区分	健康増進法・食育基本法	
											根拠法令		
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す 健康長寿で安心できる暮らしづくり 健康づくりの推進							事業の区分	主要事業				
								担当課係等	健康増進課 健康増進係				
事業期間	継続 (平成 2年度～ 年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
住民の健康保持・増進を目的とし、住民の健康問題に取り組むため、栄養の改善、その他の生活習慣の改善に関する相談や栄養指導を実施する。							結城市健康づくり推進協議会 (保健所長) の推奨により管理栄養士が配置された。当時管内 7 市町村のうち配置がないのは結城市と大和村のみであった。配置前は保健所管理栄養士に依頼して保健師が一部事業実施。配置後は他市町村に倣い、また独自の事業を開拓した。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善教室 (生活習慣病予防の一環として、講話や調理実習を実施) ・離乳食教室 (乳幼児を持つ保護者に対し、講話と調理実習を実施) ・食育教室 (就学前の子を持つ保護者に対し、講話と調理実習を実施) ・個別栄養相談 (月 1 回の定例開催時及び乳幼児健診時に栄養相談を実施) ・アプリを活用した食事調査 							栄養改善が必要な市民 【事業をとりまく環境の変化】 平成29年度に食育推進計画を内包した、第2次結城市健康増進計画を策定したため、今までの計画の評価を受け、第2次計画に基づいた事業を展開していく。						
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善教室 ・離乳食教室 ・食育教室 ・個別栄養相談等 ・アプリを活用した食事調査 				<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善教室 ・離乳食教室 ・食育教室 ・個別栄養相談等 ・アプリを活用した食事調査 				<ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善教室 ・離乳食教室 ・食育教室 ・個別栄養相談等 ・アプリを活用した食事調査 					

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	304	307			
歳入計 (千円)		304	307			
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	104	129			
	10 需用費	151	121			
	11 役務費	29	37			
	12 委託料	20	20			
歳出計 (千円) (A)		304	307			
伸び率 (%)			0.98			
備考	総合計画 49 ページ 予算書 117 ページ					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	栄養に関する教室の実施回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	食習慣の基礎をつくる離乳食教室を開催する		実績	8.00	0.00	0.00
	栄養相談実施回数	回	目標	60.00	60.00	60.00
	栄養相談として、個別栄養相談・乳幼児健診個別相談を実施		実績	59.00	0.00	0.00
成果 指標	指導実施延べ人数	人	目標	1,600.00	1,600.00	1,600.00
	栄養に関する相談指導を実施した延べ人数		実績	509.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の健康保持・増進に必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	健康増進法、食育基本法に基づき市が行う必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	栄養相談や教室の実施などが一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	少ない人数で全てのライフステージに対応しなければならない。コスト、人員ともに削減は難しい。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	個人通知、お知らせ版、健康カレンダー、SNS等で広く周知しているが、参加者は比較的健康意識が高い者である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	参加者のアンケート結果から内容に対する満足度は高いことが伺えるが参加者数が伸びていないため、啓発方法に工夫が必要である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	参加者数は伸び悩んでいるが、参加者からの満足度は高い。参加者からのフィードバックを受け改良を重ねている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
健康の分野は幅が広く「病気がない」ことが健康とは限らず「病気がある」ことが不健康とは限らないため、評価することは大変難しいが、事業に対する満足度は高いにも関わらず、参加者数が伸びていないことが課題と考える。今後もSNSによる情報発信を行うなど、時代や市民の変化にあわせた啓発方法に取り組んでいく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民の健康課題を把握し、健康増進計画に沿った事業を展開していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 地域別やライフステージに応じた栄養課題を抽出し、適切な食習慣の普及啓発や栄養に関する健康教育を実施する。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input checked="" type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 栄養改善・食育促進事業へ統合
管理課連絡欄